# 南の国の成功へのおおれませまります。サインコ税理士

### 第回 やっと子育てが終わりました!

こんなことを書くと、ムスコに怒られそうですが、最近、 本当の意味でやっと子育てが終わったと実感できるよう になりました。

じつは先日、顧問先でちょっとしたトラブルが発生し、 弁護士(ムスコ)を紹介してほしいとのリクエストがあっ たのです。訴えてやる!と、息巻いているのだけど、そこ までしなくてもと思いながら、とりあえずムスコに相談す ると、案の定「そんな程度で訴訟したって、無理無理!」 と、一蹴されてしまいました。

思わず、「なんで無理なのよ!ひどい話じゃないの?!」と、(母親の権限で笑笑)普通の弁護士さんには言えない剣幕で、文句を言うと、「いま、急ぎの書類を書いているから後でね」と電話を切られてしまいました。

その後、ダメな理由を、法的な視点から理論的に書いた長~いメールを送ってきてくれて、母は納得…。

それでも顧問先としては気持ちが収まらず、直接相談 に行きたいとのことで、ムスコの事務所に行くことになっ たのです。

すると顧問先から、訴訟は諦めたけれど別の提案をされたとのことで、お礼の電話がありました。とてもフランクに話せて、気持ちも聞いてもらって、少し落ち着いたとのこと。

ムスコが、「母が一番、怒ってましたよ」と言ったらしく、えらく顧問先に感謝され、その上「いい息子さんですね~。先生は幸せですね~」と褒めてくれたのです。

いくつになっても、親は親。コドモの事が心配でならないのは、どの親も同じだと思います。それでも「あ~、もう私の出番はないなー」と思えた出来事でした。

ふりかえると子育てには、いくつものハードルがあり、その都度、運良くそのハードルを乗り越えることができました (本当に、結果的に運が良かったとしか言えないと思っています)。

最初のハードルは、父親と二人三脚でトライレた中学

受験。勉強が嫌いで成績が伸びず、受験直前の10月、ついに父親から愛想をつかされ、大げんかするという事件がありました。中学受験やめようか?と聞くと、続けたいと言うので、それから受験までの4ヶ月、ほとんど事務所に出社せずムスコに付き合いました。

まずは塾を見直そうと、これまで通っていた近くの有名 進学塾をやめ、面倒見がよいと評判の塾に電車で1時間かけて通うことにしました。受験直前での塾の変更は チャレンジングでしたが、それまで通っていた塾では、成 績がよい子どもを中心に授業が進められるので、当時の ムスコのような落ちこばれにとっては、辛いだけでまったく 効果がないと思われたからです。

よい塾は見つかったものの、ともかく遠いので、毎週土 日、朝早く起きてムスコと一緒に塾へ行き、夕方まで近く のファミレスで時間をつぶすことに。授業が終わる6時過 ぎにお迎えに行き、帰りの電車の中で、今日やったことを 一緒に復習するというスタイルに変更しました。

すると2週間後に、嬉しい変化が。ムスコから「どうして も家にいると、ゲームをしたくなる。自分では出来ないか ら、お母さんが捨てて」と言われたのです。

おかげで偏差値が40近くあがり、第1希望ではないけれど、運良くムスコにぴったりの中学に入学できました。

この時、「あー、この子は困難があっても、逃げずに頑 張れる子だなー」と思えたのが、最大の収穫でした。

その後、学校から帰ると迎える母親のいない寂しさ

を埋めるために 犬を2匹飼いま したが、これの 想像があったと思 います。。思親 いまかり、なく の会話がなくな る時期に、毎朝



一緒に散歩に 天使のような[しゅう太]

#### ◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」で全国1位の成績を収め、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性のスタッフ約30名の規模にまで成長。一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に『小さな会社の総務・経理の仕事がわかる本』『小さな起業のファイナンス』(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」のつくり方(日本実業出版社)』『トコトンわかる株式会社のつくり方(新星出版社)』『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための士業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

行き、会話が弾んだからです。

それでもついに高1の夏、それはやってきました。詳しい理由は書けないけれど、ムスコは全く私と口をきかなくなりました。

ともかく、おはようの挨拶さえ言えない日々。塾を経営していた友人から、なんでもいいから、彼を褒めてとアドバイスされ、「そ、そのTシャツいいね」などと、どもりながら言うのが、精一杯。

そしてついに、夜も外出するようになりました。門限は9時だよ!と言うと、11時!と怒鳴り返してきて、それでも自分で言ったからか、必ず11時には滑り込みで帰ってくる毎日でした。

そんな中、飼っていた犬が3歳半の若さで突然死してしまい、それをキッカケに彼は獣医になると決心したようです。獣医学部を目指すという目標ができて、人が変わったように、勉強に向き合い始めたのもこの時から。

私も犬の葬儀などを通じて、ムスコとも普通に話しが 出来るようになりました。あの子(犬)は、ムスコを一人前 にするために、神さまが遣わしてくれた天使ではないか と、本気で思ったものです。

その後も受験には合格したものの第1志望校には失敗、獣医学部に入学後アレルギー問題が発生し、獣医を諦めて弁護士になると決心したこと、友人が社会人として就職していくなかで司法試験を受験する苦しみなどなど、本当にいくつものハードルがありました。ムスコが

ここまで順調に育って来れたのは、もちろん彼の頑張りが一番なのですが、子育てが上手くできたというより、運が良かったとしか言えないような気がしています。

最近、いくつもの悲惨な事件が起きています。とくに優秀な父親と、父を乗り越えられずに引きこもったり、事件を起こしてしまった息子たち。胸が痛くてたまりません。

とくに、家庭内暴力に耐えきれず、息子が他人に危害を与える前にとの思いで、自分の息子を殺害してしまった元官僚の父。彼が通っていた中学は、うちのムスコも一度は目指した学校(偏差値が足りず、受験していませんが)です。

あの彼の父親も母親も、愛情をかけて育てなかったわけがありません。母親がゲームを捨てたことを憎んでいたという報道もありますが、それは中学受験を目指す親子にとって、とくに珍しい出来事ではない…と思います。

どこで歯車が狂ってしまったのか、知るすべはありませんが、どこの家でも起こりうることのような気がして、それは一歩間違えば、我が家でも起きていた可能性はあるわけで…。

そしてもしかしたら、いま現在も誰にも言えずに、相談できずに苦しんでいる親子が、たくさんいるのではないかと思います。

誰か専門家が、詳しい状況や対処法などを分析して くれるといいのですが…。そしていま、同じように苦しん でいる親子にとって、その解決方法の道しるべになって くれればと、願わずにいられません。

#### 令和元年 6月20日 発売!

## ひとりでできる 必要なことがパッとわかる 人事・経理・労務の仕事が全部できる本

原 尚美 著、菊地 加奈子 著(ソーテック社) 1.580円+税

大好評にて20刷の『最新 小さな会社の 総務・経理の仕事がわかる本』の実践版です。「分かる」だけでなく、「できる」に徹底的にこだわりました。消費税の軽減税率や働き方改革にも対応しています。多くの中小企業の現場で役立つ情報を盛り込み、人事・経理・労務の初心者から3年目の中堅まで存分に使える内容になっています!



54